



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 株式会社イトーキ 上場取引所 東
コード番号 7972 URL <https://www.itoki.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 湊 宏司
問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員（氏名） 田中 有美（TEL）03-6910-3910
経営企画本部長
半期報告書提出予定日 2026年8月6日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	86,316	8.9	11,632	9.5	11,580	10.3	7,748	11.3
2025年12月期中間期	79,244	9.3	10,625	54.8	10,497	53.5	6,960	36.8

（注）包括利益 2026年12月期中間期 8,647百万円（23.3%） 2025年12月期中間期 7,011百万円（24.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	156.77	—
2025年12月期中間期	141.26	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期中間期	130,144	61,969	47.5	1,250.53
2025年12月期	130,724	56,813	43.4	1,147.78

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 61,862百万円 2025年12月期 56,709百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2026年12月期	—	0.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	—	—	90.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	167,500	9.0	16,000	16.9	16,000	16.5	11,200	19.4	226.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

除外 2社 (社名) 伊藤喜オールスチール株式会社、不二パウダル株式会社

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年12月期中間期	53,382,850株	2025年12月期	53,382,850株
2026年12月期中間期	3,913,913株	2025年12月期	3,974,999株
2026年12月期中間期	49,428,029株	2025年12月期中間期	49,272,038株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、米中間の通商摩擦の長期化に加え、中東及びウクライナ情勢を背景とした地政学リスクの高まりにより、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループでは中期経営計画「RISE TO GROWTH 2026」の最終年度となる当期において、重点戦略7Flags及びESG戦略に基づいた各種施策を推進しております。当中間連結会計期間は、持続的な成長力を高めるため、新しい働き方やその働き方を実装するオフィス空間の提案、価値向上に重点を置いた営業活動の展開により、一層の売上・利益の拡大を図ってまいりました。

(単位：百万円)

	2025年中間 連結会計期間	2026年中間 連結会計期間	増減額	増減率
売上高	79,244	86,316	7,072	8.9%
売上総利益	33,869	37,364	3,495	10.3%
販売費及び一般管理費	23,243	25,731	2,488	10.7%
営業利益	10,625	11,632	1,006	9.5%
営業外収益	280	363	83	29.7%
営業外費用	408	415	6	1.6%
経常利益	10,497	11,580	1,083	10.3%
特別利益	71	114	43	60.2%
特別損失	103	289	186	180.0%
税金等調整前中間純利益	10,465	11,405	940	9.0%
法人税等合計	3,510	3,653	142	4.1%
中間純利益	6,955	7,752	797	11.5%
親会社株主に帰属する中間純利益	6,960	7,748	788	11.3%

(i) 売上高

前年同期と比較して70億72百万円(8.9%)増収の863億16百万円と想定通りの結果となりました。なお、中間期において5期連続の増収、4期連続で過去最高の売上高を更新しました。

- ・ワークプレイス事業は、ハイブリッドな新しい働き方にあわせたリニューアル案件を中心に堅調に推移しました。
- ・設備機器・パブリック事業は、主に研究施設向け設備が好調に推移したことにより、大幅増収となりました。

(ii) 売上総利益

前年同期と比較して34億95百万円(10.3%)増益の373億64百万円となりました。

- ・ワークプレイス事業は、増収効果により、増益となりました。
- ・設備機器・パブリック事業は、主に研究施設向け設備における増収効果や提供価値の向上による利益率の改善により、大幅増益となりました。

(iii) 販売費及び一般管理費

業容拡大に伴う人件費の増加に加えて、AX推進のための基盤強化等の将来の飛躍に向けた戦略的支出を計画通りに実行したことにより、前年同期と比較して24億88百万円(10.7%)増の257億31百万円となりました。

(iv) 営業利益

以上の結果、営業利益は、前年同期と比較して10億6百万円(9.5%)増益の116億32百万円と想定通りの結果となりました。なお、中間期において2期連続で増益、過去最高益を更新しました。

- ・ワークプレイス事業は、売上高が堅調に推移し増収となったものの、販売費及び一般管理費の増加により、減益となりました。
- ・設備機器・パブリック事業は、主に研究施設向け設備における増収効果及び提供価値の向上による利益率の改善により、大幅増益となりました。

(v) 営業外収益

為替差益等の増加により、前年同期と比較して83百万円(29.7%)増加し3億63百万円となりました。

(vi) 営業外費用

支払利息等の増加により、前年同期と比較して6百万円(1.6%)増加し4億15百万円となりました。

(vii) 経常利益

以上の結果、経常利益は前年同期と比較して10億83百万円(10.3%)増加し115億80百万円となりました。

(viii) 特別利益

製品自主回収関連損失引当金戻入額の計上等により、前年同期と比較して43百万円(60.2%)増加し1億14百万円となりました。

(ix) 特別損失

減損損失の計上等により、前年同期と比較して1億86百万円(180.0%)増加し2億89百万円となりました。

(x) 親会社株主に帰属する中間純利益

以上の結果、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期と比較して7億88百万円(11.3%)増加し77億48百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称		2025年中間 連結会計期間	2026年中間 連結会計期間	増減額	増減率
ワークプレイス 事業	売上高	58,571	62,365	3,793	6.5%
	営業利益	8,322	8,019	△303	△3.6%
設備機器・ パブリック事業	売上高	19,897	23,196	3,298	16.6%
	営業利益	2,221	3,544	1,322	59.6%
報告セグメント計	売上高	78,468	85,561	7,092	9.0%
	営業利益	10,543	11,563	1,019	9.7%
その他	売上高	775	754	△20	△2.7%
	営業利益	81	69	△12	△15.0%
合計	売上高	79,244	86,316	7,072	8.9%
	営業利益	10,625	11,632	1,006	9.5%

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	2025年12月末	2026年6月末	増減額	増減率
資産の部	130,724	130,144	△580	△0.4%
負債の部	73,910	68,174	△5,736	△7.8%
純資産の部	56,813	61,969	5,155	9.1%

(資産の部)

総資産は、繰延税金資産等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて5億80百万円減少し、1,301億44百万円となりました。

(負債の部)

負債合計は、支払手形及び買掛金、電子記録債務等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて57億36百万円減少し、681億74百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、増益により利益剰余金等が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて51億55百万円増加し、619億69百万円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末から4.2ポイント増加し47.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ、13億51百万円の資金の増加があり221億72百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(i) 営業活動によるキャッシュ・フロー

増収を主因として、営業活動による資金の増加は40億3百万円(前年同期は40億60百万円の増加)となりました。

(ii) 投資活動によるキャッシュ・フロー

保険積立金の解約による収入等がある一方で、本社ショールーム(IDH)及び工場への設備投資による支出により、投資活動による資金の減少は11億80百万円(前年同期は24億76百万円の減少)となりました。

(iii) 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払等により、財務活動による資金の減少は15億96百万円(前年同期は9億78百万円の増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2026年2月13日の「2025年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。今後、修正が必要な事象が生じた際には速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,629	22,393
受取手形、売掛金及び契約資産	34,474	32,634
電子記録債権	7,289	8,808
有価証券	-	340
商品及び製品	6,572	6,907
仕掛品	2,035	1,592
原材料及び貯蔵品	4,592	4,859
その他	2,997	3,293
貸倒引当金	△186	△221
流動資産合計	79,406	80,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,458	12,946
土地	7,950	7,950
その他(純額)	6,117	6,237
有形固定資産合計	26,525	27,133
無形固定資産		
のれん	714	635
その他	5,359	5,177
無形固定資産合計	6,074	5,813
投資その他の資産		
投資有価証券	6,659	7,500
退職給付に係る資産	1,740	1,682
繰延税金資産	2,370	702
その他	8,063	6,766
貸倒引当金	△145	△91
投資その他の資産合計	18,688	16,561
固定資産合計	51,288	49,508
繰延資産		
社債発行費	29	26
繰延資産合計	29	26
資産合計	130,724	130,144

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,380	7,694
電子記録債務	1,962	707
設備関係支払手形	0	3
1年内償還予定の社債	16	9
短期借入金	12,830	18,470
1年内返済予定の長期借入金	6,055	3,859
未払法人税等	4,141	2,740
未払消費税等	1,234	1,406
賞与引当金	4,170	1,555
役員賞与引当金	344	28
受注損失引当金	0	0
製品保証引当金	16	18
関係会社事業損失引当金	85	93
製品自主回収関連損失引当金	82	8
その他	9,260	8,581
流動負債合計	49,580	45,175
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	10,089	8,989
リース債務	637	556
繰延税金負債	345	247
製品自主回収関連損失引当金	83	83
退職給付に係る負債	3,669	3,652
資産除去債務	1,584	1,558
その他	2,921	2,909
固定負債合計	24,330	22,998
負債合計	73,910	68,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351	7,351
資本剰余金	11,692	11,789
利益剰余金	42,812	46,855
自己株式	△7,684	△7,566
株主資本合計	54,171	58,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,719	2,610
為替換算調整勘定	729	725
退職給付に係る調整累計額	89	96
その他の包括利益累計額合計	2,537	3,432
非支配株主持分	104	106
純資産合計	56,813	61,969
負債純資産合計	130,724	130,144

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	79,244	86,316
売上原価	45,374	48,951
売上総利益	33,869	37,364
販売費及び一般管理費	23,243	25,731
営業利益	10,625	11,632
営業外収益		
受取利息	18	18
受取配当金	53	77
為替差益	48	86
受取保険金	33	67
その他	126	113
営業外収益合計	280	363
営業外費用		
支払利息	243	285
支払手数料	108	6
その他	56	122
営業外費用合計	408	415
経常利益	10,497	11,580
特別利益		
固定資産売却益	2	2
投資有価証券売却益	69	52
製品自主回収関連損失引当金戻入額	-	50
その他	-	8
特別利益合計	71	114
特別損失		
固定資産売却損	21	-
固定資産除却損	80	26
退職給付制度終了損	-	83
減損損失	-	146
その他	1	33
特別損失合計	103	289
税金等調整前中間純利益	10,465	11,405
法人税、住民税及び事業税	2,901	2,475
法人税等調整額	608	1,177
法人税等合計	3,510	3,653
中間純利益	6,955	7,752
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△4	4
親会社株主に帰属する中間純利益	6,960	7,748

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	6,955	7,752
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86	891
為替換算調整勘定	△35	△4
退職給付に係る調整額	5	7
その他の包括利益合計	56	894
中間包括利益	7,011	8,647
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	7,018	8,644
非支配株主に係る中間包括利益	△6	3

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	10,465	11,405
減価償却費	1,547	2,137
のれん償却額	70	79
減損損失	-	146
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	13
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,344	△2,616
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△203	△315
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△88	△16
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	23	76
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△71	-
製品保証引当金の増減額(△は減少)	0	1
関係会社事業損失引当金の増減額(△は減少)	0	7
競争法関連損失引当金の増減額(△は減少)	△734	-
受取利息及び受取配当金	△72	△95
支払利息	243	285
投資有価証券売却損益(△は益)	△68	△25
固定資産売却損益(△は益)	19	△2
固定資産除却損	80	26
売上債権の増減額(△は増加)	△1,822	487
棚卸資産の増減額(△は増加)	△660	△141
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,886	△3,055
その他	1,375	△415
小計	6,871	7,983
利息及び配当金の受取額	74	95
利息の支払額	△228	△279
競争法関連支払額	△734	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,921	△3,796
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,060	4,003

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△993	△630
定期預金の払戻による収入	743	1,218
有形固定資産の取得による支出	△1,813	△2,600
有形固定資産の売却による収入	2	2
無形固定資産の取得による支出	△1,216	△561
投資有価証券の取得による支出	△156	△125
投資有価証券の売却による収入	107	221
長期貸付けによる支出	△3	-
長期貸付金の回収による収入	0	1
保険積立金の純増減額(△は増加)	667	1,460
その他	186	△167
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,476	△1,180
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△370	5,640
長期借入れによる収入	10,450	100
長期借入金の返済による支出	△6,270	△3,395
社債の償還による支出	△7	△7
配当金の支払額	△2,651	△3,699
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
自己株式の純増減額(△は増加)	13	△0
その他	△186	△233
財務活動によるキャッシュ・フロー	978	△1,596
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	125
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,560	1,351
現金及び現金同等物の期首残高	21,494	20,820
現金及び現金同等物の中間期末残高	24,054	22,172

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ワークプレイ ス事業	設備機器・パ ブリック事業	計				
売上高							
日本	55,241	19,791	75,033	688	75,721	—	75,721
アジア	3,191	28	3,220	—	3,220	—	3,220
その他	137	76	214	—	214	—	214
顧客との契約から 生じる収益	58,571	19,897	78,468	688	79,156	—	79,156
その他の収益	—	—	—	87	87	—	87
外部顧客への売上高	58,571	19,897	78,468	775	79,244	—	79,244
セグメント間の内部 売上高又は振替高	120	6	127	273	401	△401	—
計	58,692	19,904	78,596	1,049	79,645	△401	79,244
セグメント利益	8,322	2,221	10,543	81	10,625	—	10,625

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITシステム関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ワークプレイ ス事業	設備機器・パ ブリック事業	計				
売上高							
日本	58,407	22,980	81,388	710	82,099	—	82,099
アジア	3,827	138	3,966	—	3,966	—	3,966
その他	129	77	206	—	206	—	206
顧客との契約から 生じる収益	62,365	23,196	85,561	710	86,272	—	86,272
その他の収益	—	—	—	44	44	—	44
外部顧客への売上高	62,365	23,196	85,561	754	86,316	—	86,316
セグメント間の内部 売上高又は振替高	134	35	170	246	417	△417	—
計	62,500	23,232	85,732	1,001	86,733	△417	86,316
セグメント利益	8,019	3,544	11,563	69	11,632	—	11,632

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITシステム関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当中間連結会計期間において、ワークプレイス事業で146百万円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。